

令和2年度
事業報告書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

社会福祉法人 緑風会

1. 社会福祉法人緑風会本部

令和2年1月発生の新型コロナウイルス感染の世界的流行は、医療界を含めて日本全体を、更には世界的な規模で社会の在り方を変化させた。この経営環境の変化は、医療の在り方、各医療機関の地域での機能等の再考を迫った。コロナ禍前より日本を取り巻く国際情勢は大きく変化し、日本自体の社会構造においても、「少子化」「超高齢化社会」「人口減少」と日本の人口構成が大きく変化し、年金・福祉・医療・介護という社会保障全体の在り方が国家を左右する課題となり、消費税率の引き上げもあり、病院経営、介護施設経営の困難な状況が続いている。福祉・医療・介護の担い手である公益法人（社会福祉法人）の在り方も世論の厳しい批判を背景に大改革が行われ、その存在意義を問われ続けている。

医療においては、第一次医療法改正から第五次医療法改正、老人保健法成立から後期高齢者医療制度、健康保険法改正及び診療報酬改定と、厚生労働省は医療提供体制の再編をしてきた。五疾病（がん、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病、精神病）・五事業（救急医療、災害医療、僻地医療、小児医療、周産期医療）を軸に、医療機関を機能別に再編し、高度急性期医療から急性期医療、回復期リハ、慢性期医療を経て在宅医療まで切れ目ない医療サービスが効率的に国民に提供されるように体制の整備を急いでいる。年金・福祉・医療・介護を持続可能な制度にできる財政的枠組みづくりと、効率的医療体制の実現と医療・介護・地域の複合的連携による「地域包括ケアシステム」の構築を図っている。それは医療費適正化及び介護費適正化を伴うものである。

緑風会は、厳しいこの経営環境の下において、緑風荘病院の建替え事業に次いで、今後は医療構造改革の進捗、病院界再編の状況、福祉・医療・介護政策の動向を分析し、今後も福祉・医療・介護の全般に対応しうる「地域の相談役」となりうるように研究・努力を続けている。

緑風荘病院、介護老人保健施設グリーン・ボイス、各在宅事業とも従来の経営環境の厳しさもあったが、病院建築期間中の減収、建築費・解体費用負担、入院機能再編、近隣介護施設開設ラッシュ、各施設の大規模修繕等ラッシュという困難を乗り越えてきた。この新型コロナウイルス感染症の世界的流行も乗り越え、改築後緑風荘病院を中心に、医療・介護・在宅機能の総合された緑風会として地域での役割を担うべく、日々の業務に励んでいる。

この度の社会福祉法改正により、本来業務の福祉事業以外にも社会公益活動を行うことを求められた。法人独自で無料低額診療事業の一環として行ってきた介護予防事業、ほっと喫茶に加えて、東村山市の地域と連携して地域公益活動としての総合相談事業等を開始し、東京都の広域における地域公益活動としての取り組みも引き続き行っている。

本来業務である無料低額診療事業、無料低額利用事業については、東京都社会福祉協議会医療部会と全国福祉医療施設協議会を通じて、その業務の充実及び発展と広報に努めている。

平成27年度から（改正）社会福祉法人会計に移行し、平成29年度からは会計監査人（監査法人）による監査を受けており、新制度への対応を進行させている。

令和2年度診療報酬改定によって、病院経営及び介護施設の経営は厳しさを増した。また、医師、看護師、調理員など全ての職種の採用も難しく、今後は厚生労働省の働き方改革なども医療機関・介護施設の運営の仕方に大きく影響するであろう。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、日本全体を、そして医療界を、更には世界的な規模で社会の在り方を変化させるであろう。この経営環境の変化にも対応しなければならない。

法人単位事業活動計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位：円)

勘定科目		令和2年度決算(A)	令和1年度決算(B)	差額(A) - (B)
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	834,683,326	825,775,409	8,907,917
	施設介護料収益	603,404,354	606,256,661	△ 2,852,307
	居宅介護料収益	142,405,964	144,708,266	△ 2,302,302
	地域密着型介護料収益	12,991,667	12,138,016	853,651
	居宅介護支援介護料収益	26,546,301	26,285,014	261,287
	その他の介護収益	49,335,040	36,387,452	12,947,588
	保育事業収益(その他の事業)	2,230,175	3,342,360	△ 1,112,185
	医療事業収益	2,533,293,671	2,648,774,109	△ 115,480,438
	入院診療収益	1,773,299,679	1,757,145,740	16,153,939
	室料差額収益等	41,360,773	42,795,408	△ 1,434,635
	外来診療収益	689,789,704	818,064,435	△ 128,274,731
	保健予防活動収益	30,802,563	32,465,873	△ 1,663,310
	受託検査・施設利用収益	817,751	1,082,574	△ 264,823
	保険等査定減	△ 4,698,229	△ 5,109,423	411,194
	その他の収益	1,921,430	2,329,502	
	其他医業外収益	22,386,000	275,000	22,111,000
	サービス活動収益計(1)	3,392,593,172	3,478,166,878	△ 85,573,706
	費用	人件費	2,410,233,368	2,458,346,664
事業費		715,876,255	724,889,117	△ 9,012,862
事務費		133,699,313	144,798,131	△ 11,098,818
利用者負担軽減額		27,793,136	23,126,991	4,666,145
減価償却費		209,146,603	204,559,373	4,587,230
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 25,039,604	△ 24,173,487	△ 866,117
徴収不能額		149,515	82,160	67,355
徴収不能引当金繰入		0	0	0
サービス活動費用計(2)		3,471,858,586	3,531,628,949	△ 59,770,363
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		△ 79,265,414	△ 53,462,071	△ 25,803,343
サービス活動外増減の部	借入金利息補助金収益	0	180,000	△ 180,000
	受取利息配当金収益	22,994	32,384	△ 9,390
	その他のサービス活動外収益	18,719,178	19,766,958	△ 1,047,780
	サービス活動外収益計(4)	18,742,172	19,979,342	△ 1,237,170
	支払利息	13,299,821	16,397,887	△ 3,098,066
	その他のサービス活動外費用	14,881,906	16,564,879	△ 1,682,973
サービス活動外費用計(5)	28,181,727	32,962,766	△ 4,781,039	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	△ 9,439,555	△ 12,983,424	3,543,869	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 88,704,969	△ 66,445,495	△ 22,259,474	
特別増減の部	施設整備等補助金収益	1,144,000	1,514,000	△ 370,000
	固定資産売却益	0	0	0
	その他の特別収益	466,087	6,062,436	△ 5,596,349
	特別収益計(8)	1,610,087	7,576,436	△ 5,966,349
	固定資産売却損・除却損	1,371,293	898,369	472,924
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,144,000	0	1,144,000
	その他の特別費用	24,450,490	12,566,232	11,884,258
特別費用計(9)	26,965,783	13,464,601	13,501,182	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 25,355,696	△ 5,888,165	△ 19,467,531	
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)		△ 114,060,665	△ 72,333,660	△ 41,727,005
前期繰越活動増減差額(12)		2,235,010,501	2,307,344,161	△ 72,333,660
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		2,120,949,836	2,235,010,501	△ 114,060,665
基本金取崩額(14)		0	0	0
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
その他の積立金積立額(16)		0	0	0
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)		2,120,949,836	2,235,010,501	△ 114,060,665

事業活動計算書（本部）

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目		令和2年度決算	令和1年度決算	差	
サービス活動増減の部	収益	サービス活動収益計(1)			
		0	0	0	
	費用	人件費	72,551,729	80,087,355	△ 7,535,626
		事業費	117,827	608,259	△ 490,432
		事務費	7,500,621	8,846,226	△ 1,345,605
		利用者負担軽減額	0	0	0
		減価償却費	1,552,718	1,573,539	△ 20,821
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
		徴収不能額	0	0	0
		徴収不能引当金繰入	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	81,722,895	91,115,379	△ 9,392,484	
	サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 81,722,895	△ 91,115,379	9,392,484	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	22,717	32,208	△ 9,491
		その他のサービス活動外収益	1,773,777	1,924,308	△ 150,531
		サービス活動外収益計(4)	1,796,494	1,956,516	△ 160,022
	費用	支払利息	20,948	22,118	△ 1,170
		その他のサービス活動外費用	0	0	0
		サービス活動外費用計(5)	20,948	22,118	△ 1,170
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	1,775,546	1,934,398	△ 158,852	
	経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 79,947,349	△ 89,180,981	9,233,632	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	80,196,027	89,348,767	△ 9,152,740
		その他の特別収益	0	0	0
		特別収益計(8)	80,196,027	89,348,767	△ 9,152,740
	費用	固定資産売却損・除却損	29,318	0	29,318
		拠点区分間繰入金費用	0	0	0
		その他の特別費用	219,360	14,558,949	△ 14,339,589
		特別費用計(9)	248,678	14,558,949	△ 14,310,271
		特別増減差額(10) = (8) - (9)	79,947,349	74,789,818	5,157,531
	当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)	0	△ 14,391,163	14,391,163	
	前期繰越活動増減差額(12)	215,769,683	230,160,846	△ 14,391,163	
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	215,769,683	215,769,683	0	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	215,769,683	215,769,683	0	

※令和1年度で訪問介護事業の廃止に伴う処理

緑風会本部は、監査法人の監査に対応できる体制が整ってきており、期中における監査法人の往査も対応できている。令和2年度にコンピューターソフトの更新をした。

銀行取引のかなりの部分をインターネット上で行うなど業務を合理化できていることもあり、業務の更なる安定化に努める。

2. 緑風荘病院 令和2年度事業報告

1) 緑風荘病院の概要

診療科目： 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、リウマチ科、内科（人工透析）、
小児科（令和2年8月末終了）、外科、消化器外科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、
リハビリテーション科

入院： 許可病床 199床
内訳）一般病床 51床 回復期リハ病棟 40床 医療療養病床 108床

外来： 患者延数1日平均約300名（透析処置ベッド34床）

2) 緑風荘病院の経営環境

- ① 診療報酬改定 H18年4月マイナス3.16%改定
H18年10月居住費・食費の保険外化
入院基本料の再編（7対1創設）と厳格化
看護配置基準・夜勤条件の厳格化
医療療養病床の医療必要度による再編
H26年4月 地域包括ケア病棟入院基本料創設
H26年4月 7対1入院基本料の基準厳格化
H26年4月 7対1、10対1除外事項廃止
H28年4月 7対1入院基本料 重症度、医療看護必要度の厳格化
H28年4月 回復期リハビリ入院料 リハビリの効果測定導入
H28年4月 療養病棟入院基本料 医療区分条件・運用基準厳格化
H30年4月 療養病棟入院基本料 看護配置基準厳格化
R2年4月 医師の働き方改革 病院機能分化の推進
- ② 健康保険法関係改正 (H14年10月老人1割負担)
(H15年4月健保本人3割負担)
(H20年4月後期高齢者医療制度施行)
- ③ 介護報酬改定 (H17年10月居住費・食費の保険外化)
(H18年4月マイナス2.4%改定)
(介護療養型老人保健施設を新設)
(H21年度、H24年度、H27年度と改定は厳しい)
(H30年度「介護医療院」創設)
- ④ 医療法関係 病床機能報告制度（機能分化の推進）
地域医療構想の策定 → 機能別の病床規制

緑風荘病院は、地方的な一般病院でケア・ミックス医療（一般病床＋療養病床）を中心としている。一般診療から、老健、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携した高齢者医療から介護までできる医療機関として、地域での存在を確立してきた。

緑風荘病院の医療機関としての機能は、①急性期の後方支援病院、②初期救急、③透析入院ができる病院、④在宅医療・介護の支援、⑤リハビリテーション病院として、北多摩地域の急性期と在宅医療の橋渡し役並びにその後の在宅医療・介護を支える医療機関としての役割を確立してきている。

緑風荘病院は地域社会（東村山・小平・東大和）と共に成長し続けてきた。今後もこの地域での福祉・医療・介護全般に関し、何でも相談できる親しみやすい医療機関として地域住民のために尽力していく。

3) 令和2年度：各部署での診療機能や組織の状況。

[医 局] :

内 科：常勤医 7 名、非常勤医師も含めて診療内容は充実。
外 科：常勤医 1 名。順天堂大学の協力の下、手術・内視鏡検査・当直体制を維持している。
整形外科：常勤医 2 名。杏林大学の協力の下、診療・手術を実施している。
令和 2 年 4 月より常勤医 1 名増員に伴い、手術件数等は大幅に増加。
透 析：常勤医 2 名。月～土 2 クール運営で充実している。
小 児 科：令和 2 年 8 月末をもって診療終了。

[看護部] :

看護師の配置基準、夜間勤務条件など厳しい運営が続いているものの、中堅職員育成、患者サービス・接遇向上といった課題にも着手している。特に接遇向上は重要課題であり、様々な方法と院内研修による質の向上に取り組んでいる。

[薬 局] :

「後発医薬品使用体制加算」を算定する等、薬品の見直し・ジェネリック薬品採用・少品種運営に注力し運営している。

[リハビリ] :

資格職を充実させ、施設基準をフル稼働しながら回復期リハビリテーション病棟も順調に稼働している。早期リハビリから在宅復帰までの流れを充実すべく更に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の稼働充実を図っている。リハビリの効果測定や定額算定を研究している。

[透 析] :

一週間を通じて一日 2 クール治療を実施。令和 3 年 3 月末に常勤医 1 名が退職となったため、令和 3 年度からは当面新しい体制の下で診療の充実を図っている。安定的な運営ができるように求人活動は継続している。

[レントゲン] :

診療放射線技師数も安定し、画像診断電子化（PACS）の運用も安定している。

[検 査] :

BMLによる外注で業務は安定しており、超音波検査についても非常勤技師数名で消化器・甲状腺・乳腺の検査態勢ができ充実している。

[事務部門] :

令和 2 年 6 月から外来診療も含めて電子カルテが本格的に稼働開始となった。
接遇向上と診療録管理の充実にも取り組んでいる。

[施設関係] :

新病院建物及び施設の機能維持のための保守や修繕が始まり、旧建物や設備の更新・保守に励んでいる。
駐車場、駐輪場も整っている。

令和2年度診療患者延数（外来）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間計
内科															
2年度	2,239	1,860	2,078	2,301	2,200	2,182	12,860	2,857	2,531	2,582	2,086	2,052	2,414	14,522	27,382
1年度	3,082	2,728	2,806	3,020	2,918	2,712	17,266	3,109	3,350	3,476	3,022	2,635	2,716	18,308	35,574
前年比	△ 843	△ 868	△ 728	△ 719	△ 718	△ 530	△ 4,406	△ 252	△ 819	△ 894	△ 936	△ 583	△ 302	△ 3,786	△ 8,192
健診															
2年度	0	0	0	268	187	248	703	95	13	10	8	5	4	135	838
1年度	0	0	181	267	263	246	957	173	9	7	12	7	4	212	1,169
前年比	0	0	△ 181	1	△ 76	2	△ 254	△ 78	4	3	△ 4	△ 2	0	△ 77	△ 331
小児科															
2年度	93	107	118	155	151		624							0	624
1年度	380	324	356	421	423	390	2,294	509	625	757	311	405	252	2,859	5,153
前年比	△ 287	△ 217	△ 238	△ 266	△ 272	△ 390	△ 1,670	△ 509	△ 625	△ 757	△ 311	△ 405	△ 252	△ 2,859	△ 4,529
外科															
2年度	695	619	733	823	808	896	4,574	1,079	863	884	792	767	845	5,230	9,804
1年度	1,016	1,016	962	1,190	1,146	1,127	6,457	1,147	1,249	966	1,041	911	849	6,163	12,620
前年比	△ 321	△ 397	△ 229	△ 367	△ 338	△ 231	△ 1,883	△ 68	△ 386	△ 82	△ 249	△ 144	△ 4	△ 933	△ 2,816
整形外科															
2年度	789	673	856	1,017	1,143	1,040	5,518	1,221	1,094	1,153	977	989	1,146	6,580	12,098
1年度	1,307	1,161	1,240	1,328	1,254	1,180	7,470	1,245	1,153	1,242	1,141	1,085	1,078	6,944	14,414
前年比	△ 518	△ 488	△ 384	△ 311	△ 111	△ 140	△ 1,952	△ 24	△ 59	△ 89	△ 164	△ 96	68	△ 364	△ 2,316
透析															
2年度	1,218	1,200	1,103	1,101	1,038	1,020	6,680	1,099	1,013	1,131	1,062	942	1,084	6,331	13,011
1年度	1,172	1,227	1,139	1,211	1,233	1,099	7,081	1,169	1,181	1,210	1,260	1,168	1,220	7,208	14,289
前年比	46	△ 27	△ 36	△ 110	△ 195	△ 79	△ 401	△ 70	△ 168	△ 79	△ 198	△ 226	△ 136	△ 877	△ 1,278
合計															
2年度	5,034	4,459	4,888	5,665	5,527	5,386	30,959	6,351	5,514	5,760	4,925	4,755	5,493	32,798	63,757
1年度	6,957	6,456	6,684	7,437	7,237	6,754	41,525	7,352	7,567	7,658	6,787	6,211	6,119	41,694	83,219
前年比	△ 1,923	△ 1,997	△ 1,796	△ 1,772	△ 1,710	△ 1,368	△ 10,566	△ 1,001	△ 2,053	△ 1,898	△ 1,862	△ 1,456	△ 626	△ 8,896	△ 19,462

令和2年度診療患者延数（病棟別入院患者数、退院患者込）

地域	内科	外科	整形外科	透析	（単位：人）											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月
A 3 階病棟	2年度	802	788	672	542	607	606	4,017	680	554	652	626	623	638	3,773	7,790
	1年度	863	861	878	836	903	851	5,192	809	686	727	644	813	992	4,671	9,863
	前年比	△ 61	△ 73	△ 206	△ 294	△ 296	△ 245	△ 1,175	△ 129	△ 132	△ 75	△ 18	△ 190	△ 354	△ 898	△ 2,073
	2年度	246	291	247	318	301	342	1,745	351	329	290	289	233	256	1,748	3,493
C 病棟	1年度	273	350	358	289	251	371	1,892	415	431	363	299	328	258	2,094	3,986
	前年比	△ 27	△ 59	△ 111	△ 29	△ 50	△ 29	△ 147	△ 64	△ 102	△ 73	△ 10	△ 95	△ 2	△ 346	△ 493
	2年度	155	156	282	271	330	358	1,552	281	292	442	403	392	367	2,177	3,729
	1年度	137	156	168	211	274	144	1,090	104	112	222	285	151	105	979	2,069
A 4 階病棟	前年比	18	0	114	60	56	214	462	177	180	220	118	241	262	1,198	1,660
	2年度	81	85	92	16	16	6	256	4	52	34	0	25	58	173	429
	1年度	60	40	33	33	21	57	220	88	68	44	89	68	76	433	653
	前年比	21	45	43	△ 17	△ 5	△ 51	36	△ 84	△ 16	△ 10	△ 89	△ 43	△ 18	△ 260	△ 224
A 5 階病棟	2年度	1,284	1,320	1,253	1,147	1,254	1,312	7,570	1,316	1,227	1,418	1,318	1,273	1,319	7,871	15,441
	1年度	1,333	1,407	1,413	1,369	1,449	1,423	8,394	1,416	1,297	1,356	1,317	1,360	1,431	8,177	16,571
	前年比	△ 49	△ 87	△ 160	△ 222	△ 195	△ 111	△ 824	△ 100	△ 70	△ 62	△ 1	△ 87	△ 112	△ 306	△ 1,130
	2年度	938	642	585	551	494	412	3,622	495	405	397	429	373	393	2,492	6,114
全体合計	1年度	804	854	964	1,017	861	1,066	5,566	1,133	1,099	1,054	1,037	991	1,064	6,378	11,944
	前年比	134	△ 212	△ 379	△ 466	△ 367	△ 654	△ 1,944	△ 638	△ 694	△ 657	△ 608	△ 618	△ 671	△ 3,886	△ 5,830
	2年度	112	241	311	442	402	410	1,918	541	603	645	666	557	647	3,659	5,577
	1年度	0	0	0	0	0	410	0	0	0	0	0	4	17	21	21
療養病棟	前年比	112	241	311	442	402	410	1,918	541	603	645	666	553	630	3,638	5,556
	2年度	1,050	883	896	993	896	822	5,540	1,036	1,008	1,042	1,095	930	1,040	6,151	11,691
	1年度	804	854	964	1,017	861	1,066	5,566	1,133	1,099	1,054	1,037	995	1,081	6,399	11,965
	前年比	246	29	△ 68	△ 24	35	△ 244	△ 26	△ 97	△ 91	△ 12	△ 58	△ 65	△ 41	△ 248	△ 274
療養病棟	2年度	1,219	1,227	1,209	1,095	985	1,042	6,777	1,039	967	1,025	1,018	937	1,030	6,016	12,793
	1年度	1,018	1,136	1,103	1,049	1,159	1,185	6,650	1,134	1,087	1,167	1,217	1,161	1,223	6,989	13,639
	前年比	201	91	106	46	△ 174	△ 143	127	△ 95	△ 120	△ 142	△ 199	△ 224	△ 193	△ 973	△ 846
	2年度	52	62	69	60	62	59	364	62	60	110	99	101	125	557	921
療養病棟	1年度	90	70	60	85	93	72	470	87	60	79	63	47	34	370	840
	前年比	△ 38	△ 8	△ 9	△ 25	△ 31	△ 13	△ 106	△ 25	△ 0	△ 31	△ 36	△ 54	△ 91	187	81
	2年度	114	47	49	78	93	126	507	155	156	123	142	106	98	780	1,287
	1年度	60	84	126	88	84	73	515	91	33	53	82	112	113	484	999
療養病棟	前年比	54	△ 37	△ 77	△ 10	9	53	△ 8	△ 64	△ 123	△ 70	△ 60	△ 6	△ 15	△ 296	△ 288
	2年度	188	185	174	269	300	334	1,450	312	280	283	247	217	248	1,587	3,037
	1年度	158	153	165	216	178	193	1,063	168	201	223	181	219	248	1,240	2,303
	前年比	30	32	9	53	122	141	387	144	79	60	66	△ 2	0	347	734
療養病棟	2年度	1,573	1,521	1,501	1,502	1,440	1,561	9,098	1,568	1,463	1,541	1,506	1,361	1,501	8,940	18,038
	1年度	1,326	1,443	1,454	1,438	1,514	1,523	8,698	1,480	1,381	1,522	1,543	1,539	1,618	9,083	17,781
	前年比	247	78	47	64	△ 74	38	400	△ 88	82	19	△ 37	△ 178	△ 117	△ 143	257
	2年度	1,099	1,077	1,099	1,088	1,069	1,089	6,521	1,100	1,034	1,070	1,032	973	1,047	6,256	12,777
療養病棟	1年度	909	951	975	984	1,112	1,036	5,967	907	879	985	1,087	1,087	1,145	6,090	12,057
	前年比	190	126	124	104	△ 43	53	554	193	155	85	△ 55	△ 114	△ 98	166	720
	2年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養病棟	前年比	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 6	△ 11	0	0	△ 17	△ 17
	2年度	91	145	133	93	112	110	684	124	120	175	176	100	111	806	1,490
	1年度	90	118	119	108	134	134	703	133	114	66	97	87	116	613	1,316
	前年比	1	27	14	△ 15	△ 22	△ 24	△ 19	△ 9	△ 6	109	79	13	△ 5	193	174
療養病棟	2年度	339	328	300	314	327	290	1,898	265	240	274	334	313	323	1,749	3,647
	1年度	422	406	381	372	352	349	2,282	397	363	389	403	376	376	2,304	4,586
	前年比	△ 83	△ 78	△ 81	△ 58	△ 25	△ 59	△ 384	△ 132	△ 123	△ 115	△ 69	△ 63	△ 53	△ 555	△ 939
	2年度	1,529	1,550	1,532	1,495	1,508	1,489	9,103	1,489	1,394	1,519	1,542	1,386	1,481	8,811	17,914
療養病棟	1年度	1,421	1,475	1,475	1,464	1,598	1,519	8,952	1,437	1,356	1,446	1,598	1,550	1,637	9,024	17,976
	前年比	108	75	57	31	△ 90	△ 30	151	52	38	73	△ 56	△ 164	△ 213	△ 62	△ 62
	2年度	5,436	5,274	5,182	5,137	5,098	5,184	31,311	5,409	5,092	5,520	5,461	4,950	5,341	31,773	63,084
	1年度	4,884	5,179	5,306	5,288	5,422	5,531	31,610	5,466	5,133	5,378	5,495	5,444	5,767	32,683	64,293
全体合計	552	95	△ 124	△ 151	△ 324	△ 347	△ 299	△ 57	△ 41	142	△ 34	△ 494	△ 426	△ 910	△ 1,209	

事業活動計算書（緑風荘病院サービス区分）

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目		令和2年度決算	令和1年度決算	差	
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益（その他の事業）	0	0	0
		医療事業収益	2,533,293,671	2,648,774,109	△ 115,480,438
		入院診療収益	1,773,299,679	1,757,145,740	16,153,939
		室料差額収益等	41,360,773	42,795,408	△ 1,434,635
		外来診療収益	689,789,704	818,064,435	△ 128,274,731
		保健予防活動収益	30,802,563	32,465,873	△ 1,663,310
		受託検査・施設利用収益	817,751	1,082,574	△ 264,823
		保険等査定減	△ 4,698,229	△ 5,109,423	411,194
		その他の収益	1,921,430	2,329,502	△ 408,072
		其他医業外収益	22,386,000	275,000	22,111,000
	サービス活動収益計(1)	2,555,679,671	2,649,049,109	△ 93,369,438	
	費用	人件費	1,681,805,723	1,707,215,940	△ 25,410,217
		事業費	607,645,050	615,802,973	△ 8,157,923
		事務費	105,367,236	111,277,362	△ 5,910,126
		利用者負担軽減額	3,498,541	3,559,351	△ 60,810
		減価償却費	156,772,341	156,494,119	278,222
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,190,000	△ 8,190,000	0
徴収不能額		87,330	82,160	5,170	
徴収不能引当金繰入		0	0	0	
サービス活動費用計(2)	2,546,986,221	2,586,241,905	△ 39,255,684		
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	8,693,450	62,807,204	△ 54,113,754		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	85	95	△ 10
		その他のサービス活動外収益	13,620,320	14,281,702	△ 661,382
	サービス活動外収益計(4)	13,620,405	14,281,797	△ 661,392	
	費用	支払利息	13,047,068	15,595,488	△ 2,548,420
		その他のサービス活動外費用	11,728,830	13,350,731	△ 1,621,901
サービス活動外費用計(5)		24,775,898	28,946,219	△ 4,170,321	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	△ 11,155,493	△ 14,664,422	3,508,929		
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 2,462,043	48,142,782	△ 50,604,825		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0
		その他の特別収益	466,087	5,457,860	△ 4,991,773
	特別収益計(8)	466,087	5,457,860	△ 4,991,773	
	費用	固定資産売却損・除却損	390,813	554,140	△ 163,327
		拠点区分間繰入金費用	85,598,260	94,658,486	△ 9,060,226
		その他の特別費用	20,423,685	1,156,771	19,266,914
		特別費用計(9)	106,412,758	96,369,397	10,043,361
		特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 105,946,671	△ 90,911,537	△ 15,035,134
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)		△ 108,408,714	△ 42,768,755	△ 65,639,959	
前期繰越活動増減差額(12)	1,098,994,646	1,141,763,401	△ 42,768,755		
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	990,585,932	1,098,994,646	△ 108,408,714		
基本金取崩額(14)	0	0	0		
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0		
その他の積立金積立額(16)	0	0	0		
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	990,585,932	1,098,994,646	△ 108,408,714		

事業活動計算書（緑風荘保育所サービス区分）

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目		令和2年度決算	令和1年度決算	差
サービス活動増減の部	収益			
	保育事業収益（その他の事業）	2,230,175	3,342,360	△ 1,112,185
	サービス活動収益計(1)	2,230,175	3,342,360	△ 1,112,185
	費用			
	人件費	23,197,124	27,939,018	△ 4,741,894
	事業費	299,762	209,404	90,358
	事務費	2,765,128	1,680,932	1,084,196
	利用者負担軽減額	0	0	0
	減価償却費	285,291	6,202	279,089
	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
徴収不能額	0	0	0	
徴収不能引当金繰入	0	0	0	
サービス活動費用計(2)	26,547,305	29,835,556	△ 3,288,251	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 24,317,130	△ 26,493,196	2,176,066	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	0	0	0
	その他のサービス活動外収益	2,079	0	2,079
	サービス活動外収益計(4)	2,079	0	2,079
	費用			
	支払利息	6,063	6,942	△ 879
その他のサービス活動外費用	51,495	43,089	8,406	
サービス活動外費用計(5)	57,558	50,031	7,527	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	△ 55,479	△ 50,031	△ 5,448	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 24,372,609	△ 26,543,227	2,170,618	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	拠点区分間繰入金収益	25,145,926	26,543,227	△ 1,397,301
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	25,145,926	26,543,227	△ 1,397,301
	費用			
	固定資産売却損・除却損	1,201	0	1,201
	拠点区分間繰入金費用	0	0	0
	その他の特別費用	772,116	0	772,116
特別費用計(9)	773,317	0	773,317	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	24,372,609	26,543,227	△ 2,170,618	
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)	0	0	0	
前期繰越活動増減差額(12)	△ 3,372,612	△ 3,372,612	0	
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	△ 3,372,612	△ 3,372,612	0	
基本金取崩額(14)	0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	△ 3,372,612	△ 3,372,612	0	

令和2年度は、新型コロナウイルスの流行に伴い外来患者数が大幅に減少した影響により、サービス活動収益の合計が約2,556百万円（前年度比約93百万円減）となった。またサービス活動費用は、合計で約2,547百万円（前年度比約39百万円減）となったため、サービス活動増減差額については9百万円（前年度比約54百万円減）となった。

東京都福祉保健局より、令和元年度の減免実績に対し、令和3年3月に無料低額診療事業について適合施設としての証明書の発行を受けた。

3. 介護老人保健施設グリーン・ボイス 令和2年度事業報告

【入所・短期入所】

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R2年度	入所	104.4	102.9	101.9	105.8	106.4	100.6	93.5	94.2	104.4	108.3	106.5	110.2	103.2
	短期入所	3.6	1.8	2.1	3.3	2.4	3.2	3.9	4.9	5.0	3.1	1.7	2.7	3.1
	計	107.9	104.7	104.0	109.1	108.7	103.7	97.4	99.0	109.4	111.4	108.2	112.9	106.4
R1年度	入所	106	98.8	102.6	106.3	109.1	106.3	103.8	104.5	105.9	110.5	110.0	107.0	105.9
	短期入所	6.5	8.7	7.9	5.8	3.6	4.9	4.9	4	3.7	2.5	4.1	3.5	5.0
	計	112.5	107.5	110.5	112.1	112.7	111.2	108.7	108.5	109.6	113.0	114.1	110.5	110.9
差		-4.6	-2.8	-6.5	-3.0	-4.0	-7.5	-11.3	-9.5	-0.2	-1.6	-5.9	2.4	-4.5

令和2年度は、施設介護料・居宅介護料収益は約7億4,700万円となり、入所・通所ともに新型コロナウイルスの影響をうけ稼働率が落ち込んだが、前年度比-515万円程度でマイナス幅を留めた。一方で、新型コロナウイルス感染症対策を中心に補助金事業収益が1,325万円あったため、サービス活動収益は昨年度比+705万円であった。

- ① 単価については、引き続き取得できる加算は積極的に取得している体制であり、横ばいである。(令和元年度 15,281円⇒令和2年度 15,378円)
- ② 稼働は、緊急事態宣言に左右されるように上下した。2月からは、入所時PCR検査実施開始などの取り組みの成果もあり、安定してきた。
- ③ 在宅復帰への取り組み等の指標は、新型コロナウイルス感染症流行のため、入退所停止届を提出しているため、換算していない。

【通所リハビリテーション】

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R2	30.5	29.9	33.1	32.9	35.1	36.3	36.3	38.2	39.2	37.0	34.5	35.8	34.9
R1	36.5	38.3	38.7	38.7	37.0	37.1	36.0	37.3	35.9	35.9	35.3	32.2	36.6
差	-6.0	-8.4	-5.6	-5.8	-1.9	-0.8	0.3	0.9	3.3	1.1	-0.8	3.6	-1.7

- ① 1回目の緊急事態宣言発出後の4~5月は利用控えがあり、定員60人に対して半分以下の利用しかない日々が続き、前年度比-8.4人/日となった。その後、利用回復・新規利用に繋がったが、2月に入所者で陽性者判明後に、再度利用控えが起こった。
- ② 単価は、令和元年度 10,227円⇒令和2年度 10,657円と横ばいである。
- ④ 稼働率は、緊急事態宣言に左右されることも多いが、令和元年度の平均を上回る兆しもある。

【訪問リハビリテーション】

令和元年度 321 件⇒令和 2 年度 827 件、単価は 7,419 円⇒8,091 円と増加した。

【費用】

令和 2 年度 人員配置 (主な職種)

職種	令和 2	令和元	増減
施設長	1.0	1.0	0.0
医師	1.1	1.1	0.0
看護職	13.6	14.3	▲ 0.7
介護職	45.5	48.8	▲ 3.3
管理栄養士	4.8	1.6	3.2
リハビリ技師等	10.4	12.3	▲ 1.9
ケアマネ・相談員	4.0	5.9	▲ 1.9
事務員・ドライバー	6.8	7.2	▲ 0.4
合計	87.2	92.2	▲ 5.0

※管理栄養士は、令和 2 年度に換算方法変更。

人件費が、前年度比 777 万円減少した。これは、主に介護職退職後の補充ができない状況であること、並びに、昨年度夏季賞与 -0.1 か月が要因である。人件費率は、平成 30 年度 79.1%、令和元年度 76.5%、令和 2 年度 76.5% (補助金を除く収益から算出すると約 77.1%) となり、依然として健全な経営状態とは言えない。現場の負担軽減と効率的な運営の両立が引き続き課題となる。

事業費は、稼働率の減少とともに給食費や医薬品費が減少したが、新型コロナウイルス感染症対策もあり保健衛生費が増加した。また、令和 2 年度には、カーテンウォールの工事 (8,954 万円) が完了し、減価償却費が上昇した。

【分析】

収益は、平成 30 年度 7 億 500 万円⇒令和元年度 7 億 5,100 万円⇒令和 2 年度 7 億 4,700 万円と推移している。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、取得できる加算にチャレンジしながら確実にケアのレベルアップ・統一化を進めている。一方で、退職後の採用がより一層難しくなり、感染症対策の影響もあり、ケアの負担は増している。これだけ人員が不足し業務負担になっても、人件費比率が減少しないのが現状である。人員の補充により一層注力しながら、経営の健全化に取り組んでいくことが課題である。

サービス活動増減差額は、補助金収益 1,325 万円分の影響で、1,196 万円 (前年度 -91 万円) であった。当期活動増減差額は -997 万円となり、前年度 -3,011 万円より回復したが、赤字である。

東京都福祉保健局より、令和元年度の減免実績に対し、令和 3 年 3 月に無料低額利用事業について適合施設としての証明書の発行を受けた。

老人保健施設グリーン・ボイス拠点

事業活動計算書（介護老人保健施設拠点）

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目		令和2年度決算	令和1年度決算	差	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	759,405,358	752,350,527	7,054,831
		施設介護料収益	603,404,354	606,256,661	△ 2,852,307
		居宅介護料収益	142,405,964	144,708,266	△ 2,302,302
		地域密着型介護料収益	0	0	0
		居宅介護支援介護料収益	0	0	0
		その他の介護収益	13,595,040	1,385,600	12,209,440
	サービス活動収益計(1)		759,405,358	752,350,527	7,054,831
	費用	人件費	566,011,410	575,738,003	△ 9,726,593
		事業費	106,896,696	107,715,933	△ 819,237
		事務費	15,265,391	20,328,193	△ 5,062,802
利用者負担軽減額		24,294,595	19,567,640	4,726,955	
減価償却費		49,802,904	45,901,500	3,901,404	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 16,849,604	△ 15,983,487	△ 866,117	
徴収不能額		62,185	0	62,185	
徴収不能引当金繰入		0	0	0	
サービス活動費用計(2)		745,483,577	753,267,782	△ 7,784,205	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		13,921,781	△ 917,255	14,839,036	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	180,000	△ 180,000
		受取利息配当金収益	192	81	111
		その他のサービス活動外収益	3,280,092	3,343,468	△ 63,376
		サービス活動外収益計(4)	3,280,284	3,523,549	△ 243,265
	費用	支払利息	201,581	755,888	△ 554,307
		その他のサービス活動外費用	3,101,581	3,170,689	△ 69,108
サービス活動外費用計(5)		3,303,162	3,926,577	△ 623,415	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		△ 22,878	△ 403,028	380,150	
経常増減差額(7) = (3) + (6)		13,898,903	△ 1,320,283	15,219,186	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,144,000	1,514,000	△ 370,000
		固定資産売却益	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0
		その他の特別収益	0	541,668	△ 541,668
		特別収益計(8)	1,144,000	2,055,668	△ 911,668
	費用	固定資産売却損・除却損	949,961	344,229	605,732
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,144,000		1,144,000
		拠点区分間繰入金費用	17,963,060	19,345,503	△ 1,382,443
		その他の特別費用	3,005,228	11,158,238	△ 8,153,010
		特別費用計(9)	23,062,249	30,847,970	△ 7,785,721
特別増減差額(10) = (8) - (9)		△ 21,918,249	△ 28,792,302	6,874,053	
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)		△ 8,019,346	△ 30,112,585	22,093,239	
前期繰越活動増減差額(12)		931,097,819	961,210,404	△ 30,112,585	
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		923,078,473	931,097,819	△ 8,019,346	
基本金取崩額(14)		0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0	
その他の積立金積立額(16)		0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)		923,078,473	931,097,819	△ 8,019,346	

4. 在宅サービス部門 令和2年度事業報告

(1) 東村山市南部地域包括支援センター

プラン数	令和2	令和元	率	人員数	令和2	令和元	増減
作成件数	2,523	2,338	7.9	看護師・保健師	1	1	0
委託件数	1,975	1,785	10.6	介護系職種	5	5	0
合計	4,498	4,123	109.1	合計	6	6	0

予防プランの増加に伴い、昨年度比123万円の増益となった。人件費が42万円減少したのは、夏季賞与の減少と、新型コロナウイルス感染予防のため外部講演等の活動がなく法人内の専門職派遣がなかったことが影響する。その他、特に大きな変動はなく、当期活動増減は+252万円（前年度比+143万円）となった。利益率7.6%（前年度4.8%）。

(2) 緑風荘指定居宅介護支援事業所

	令和2	令和元	率
件数	1,747	1,667	105%

人員	令和2	令和元	増減
主任介護支援専門員	1	1	0
介護支援専門員	3	3	0
非常勤事務員	1	1	0
合計	5	5	0

地域包括支援センターと連携し予防プランを積極的に受け入れ、件数は前年度比+5%であったが、予防プランの単価が安いいため収益は+2%に留まった。人件費は、賞与減少のため微減となった。以上のことから、前年度比で赤字幅が前年度比38万円減少し、当期活動増減差額は、-131万円となった。利益率は、-4.9%（前年度-6.5%）であった。

以上

東村山市南部地域包括支援センター拠点

事業活動計算書（地域包括支援センター）

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目		令和2年度決算	令和1年度決算	差	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	48,377,167	47,138,016	1,239,151
		施設介護料収益			0
		居宅介護料収益			0
		地域密着型介護料収益	12,991,667	12,138,016	853,651
		居宅介護支援介護料収益			0
		その他の介護収益	35,385,500	35,000,000	385,500
	サービス活動収益計(1)	48,377,167	47,138,016	1,239,151	
	費用	人件費	40,910,804	41,334,675	△ 423,871
		事業費	674,516	388,422	286,094
		事務費	1,496,771	1,671,216	△ 174,445
利用者負担軽減額		0	0	0	
減価償却費		466,328	402,245	64,083	
国庫補助金等特別積立金取崩額		0	0	0	
徴収不能額		0	0	0	
徴収不能引当金繰入		0	0	0	
サービス活動費用計(2)	43,548,419	43,796,558	△ 248,139		
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	4,828,748	3,341,458	1,487,290		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	0	0	0
		その他のサービス活動外収益	42,910	217,480	△ 174,570
		サービス活動外収益計(4)	42,910	217,480	△ 174,570
	費用	支払利息	17,310	10,890	6,420
		その他のサービス活動外費用	0	370	△ 370
サービス活動外費用計(5)	17,310	11,260	6,050		
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	25,600	206,220	△ 180,620		
経常増減差額(7) = (3) + (6)	4,854,348	3,547,678	1,306,670		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0
		その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	0	0	0	
	費用	固定資産売却損・除却損	0	0	0
拠点区分間繰入金費用		1,144,319	1,212,080	△ 67,761	
その他の特別費用	26,901	83,437	△ 56,536		
特別費用計(9)	1,171,220	1,295,517	△ 124,297		
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 1,171,220	△ 1,295,517	124,297		
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)	3,683,128	2,252,161	1,430,967		
前期繰越活動増減差額(12)	5,347,357	3,095,196	2,252,161		
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	9,030,485	5,347,357	3,683,128		
基本金取崩額(14)	0	0	0		
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0		
その他の積立金積立額(16)	0	0	0		
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	9,030,485	5,347,357	3,683,128		

事業活動計算書（居宅介護支援事業所）

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目		令和2年度決算	令和1年度決算	差	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	26,900,801	26,286,866	613,935
		施設介護料収益			0
		居宅介護料収益			0
		地域密着型介護料収益			0
		居宅介護支援介護料収益	26,546,301	26,285,014	261,287
		その他の介護収益	354,500	1,852	352,648
		サービス活動収益計(1)	26,900,801	26,286,866	613,935
	費用	人件費	25,756,578	26,031,673	△ 275,095
		事業費	242,404	164,126	78,278
		事務費	1,304,166	994,202	309,964
		利用者負担軽減額	0	0	0
		減価償却費	267,021	181,768	85,253
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
		徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入		0	0	0	
サービス活動費用計(2)	27,570,169	27,371,769	198,400		
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 669,368	△ 1,084,903	415,535		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0
		受取利息配当金収益	0	0	0
		その他のサービス活動外収益	0	0	0
		サービス活動外収益計(4)	0	0	0
	費用	支払利息	6,851	6,561	290
		その他のサービス活動外費用	0	0	0
サービス活動外費用計(5)	6,851	6,561	290		
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	△ 6,851	△ 6,561	△ 290		
経常増減差額(7) = (3) + (6)		△ 676,219	△ 1,091,464	415,245	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	0
		固定資産売却益	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0
		その他の特別収益	0	62,908	△ 62,908
		特別収益計(8)	0	62,908	△ 62,908
	費用	固定資産売却損・除却損	0	0	0
		拠点区分間繰入金費用	636,314	675,925	△ 39,611
		その他の特別費用	3,200	0	3,200
		特別費用計(9)	639,514	675,925	△ 36,411
		特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 639,514	△ 613,017	△ 26,497
当期活動増減差額合計(11) = (7) + (10)		△ 1,315,733	△ 1,704,481	388,748	
前期繰越活動増減差額(12)		△ 12,826,392	△ 11,121,911	△ 1,704,481	
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		△ 14,142,125	△ 12,826,392	△ 1,315,733	
基本金取崩額(14)		0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0	
その他の積立金積立額(16)		0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)		△ 14,142,125	△ 12,826,392	△ 1,315,733	

結 論

厚生労働省は、医療構造改革と診療報酬・介護報酬改定において少子・超高齢化社会、人口減少社会における医療・介護の新しい提供体制と財政的な運営方法を整備しようとしている。日本社会全体の社会保障という視点から医療・介護・福祉に対する全般的な検討が加えられており、今後も多くの議論が予想される。当面 2025 年問題、そして 2040 年問題に向けて、「地域包括ケアシステム」の構築及び「地域共生社会」への関わり方が大きな課題となる。新型コロナウイルス感染症の世界的流行に対する対応も避けられない。

緑風荘病院は、平成 22 年度以降、病棟閉鎖、仮設工事、南病棟解体、入院機能の再編と大きな困難を克服しながら病院機能の再構築をしてきた。これらの計画遂行は病院の入院・外来における患者数動向に大きく影響され、結果として収支における負荷は多大なものであった。平成 24 年度での介護療養の医療療養への転換、回復期リハ病棟の改修工事の為の一時休止によって入院患者数を大きく減じたが、建替え計画によって当初より実現が見込まれた通りに、入院機能再編による各病棟の一日平均単価の増加と、稼働状況の向上により増収することができた。今後も、透析事業の安定化を図り、整形外科により手術件数を増やし、回復期リハビリテーション病棟の稼働安定化等により、病院全体の稼働状況の向上に努めたい。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響で外来が大幅な減収となったが、緑風荘病院と老健グリーン・ボイスとの連携はもとより、地域の他の医療機関、介護施設とも連携を密にしながら稼働状況の改善を図りたい。

病院、老健施設も、この度の医療構造改革、特に高齢者に対する医療・介護についての政策の方向性を考えると厳しい経営環境は今後も続くであろう。しかし、病院、老健、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所が連携し、地域住民（特に高齢者の方々）にいろいろな面で複合的に関わり、国が目指す「地域包括ケア」の一端を担えれば、福祉・医療・介護を担う社会福祉法人として社会的使命を果たせるものと考えている。

この新型コロナウイルス感染症流行を乗り越えることに注力し、その後は緑風会全体の組織を固め、各部門間の協力・連携関係を強化し、制度改革の動向について情報を収集し、十分に研究し、積極的に地域社会に貢献していくものとする。